

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

社 会		東京書籍
総 評		<p>「どのように学ぶのか」が児童に分かりやすいように示されており、「つかむ」「しらべる」「まとめる」の項目を示し、問題解決の流れに沿った内容が掲載されているので、児童が主体的に課題を追求し学ぶことができる。まなび方コーナーにより児童の見方・考え方を促す工夫がみられる。単元の学習のまとめについては、多くの具体的な活動例を示しており、学習をより深めることができる。統計資料の掲載が全体的にやや少ない。また、社会との関わり方を選択・判断することを促す構成が見られない。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 「どのように学ぶのか」が児童に分かりやすいように示されており、児童が主体的に学ぶことができるように配慮・工夫されている。③
	2 内容の取扱い	○ 「つかむ」「しらべる」「まとめる」の項目を示し、その問題解決の流れに沿った内容が掲載されているので、課題を追求しやすくなっている。① ○ まなび方コーナーとして「見る・聞く・ふれる」「読み取る」「表す・伝える」という内容ごとに方法のポイントが整理されたコーナーがその活動を要する場面で記載されており、児童の資料活用能力や、観察・見学・聞き取りなどの調査活動能力を育むよう工夫されている。⑤
	3 外的要素	○ 学年に応じて、フォントのサイズが変更されており、未修学の漢字や読みづらい漢字にはルビが振られるなど、児童が読みやすいように編集されている。② ○ 紙質が良く、写真資料がたいへん鮮明であり、細かな部分まで調べるのに適している。③
	4 構成・配列	○ 「まとめる」の活動に『キャッチフレーズ作り』などの創造的な内容が示されているため、獲得した知識を活用することができ、思考力・判断力・表現力を高めることができるようになっている。②
	5 資料・その他	○ 見学等による体験的な学習が難しい単元（5年生「我が国の工業生産」等）では、写真資料が豊富であり、学習意欲が引き出されるように工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 大単元を通して学習したことを、社会との関わり方を選択・判断することや、自分の学びを生かすことにつなげる構成が十分ではない。②
	2 内容の取扱い	○ 大阪府を事例地として取り上げているのは1か所だけである。
	3 外的要素	○ 鮮明である半面、光の当たり具合により反射して見づらさを感じる。①
	4 構成・配列	○ 選択単元の一つの内容が大まかにまとめられており、そちらを選択して学習を展開するには物足りなさを感じる。②
	5 資料・その他	○ 第3学年と第4学年については、統計資料がやや少なく、サイズも小さく児童の調査活動に配慮を要する。①

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

社 会		教育出版
総 評		<p>児童が主体的かつ対話的に学習できるよう「この時間の問い」が示されており、その解決の手立てとなる資料や情報も適切に掲示されている。また、各小単元の終末段階にあたる箇所には、次時に繋がるような問いや疑問が示されている。児童の意識の流れを繋げていくうえで大変有効である。しかしながら、本文中の論説がやや主観的に感じられるところが数か所ある。指導者の知識や判断力が求められるように感じる。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 登場人物の対話から単元の学習が始まっており、教科書を参考にしながら子どもたちが主体的に対話的な学びを進めることができるようになっている。③</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 「まとめる」の部分に学習問題を再掲することで、子どもたちが単元全体を振り返り、学習したことを基に問題解決できるようになっている。⑥</p> <p>○ 「ひろげる」の部分では、さらに詳しい情報が揚げられ知識を深めることができるようになっている。④</p>
	3 外的要素	<p>○ 歴史単元における想像図などの絵図が鮮やかで、描写も細かいため見やすい。③</p> <p>○ 全体的にフォントサイズが大きく、見やすい。②</p>
	4 構成・配列	<p>○ 本時の問いと次時の問いが示されているため、学習のつながりを把握しやすい。課題の追求がしやすい構成と言える。②</p>
	5 資料・その他	<p>○ 折り込み資料が多く、そこに大きく写真資料を載せるなど、読み取りがしやすいように配慮されている。②</p>
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<p>○ 情報量が多すぎて、十分に思考、判断、表現する時間がもてるか課題である。④</p>
	2 内容の取扱い	<p>○ 大阪府を事例地として取り上げている箇所がない。</p>
	3 外的要素	<p>○ 版型が大きく、やや厚くて重い。①</p>
	4 構成・配列	<p>○ 内容が多く、1時間内で学習を完結するには配慮を要する。①</p>
	5 資料・その他	<p>○ 資料説明に使われる色が多く、学びの過程に困難さを示す児童には集中しにくいページがあり、配慮を要する。②</p>

令和2年度使用教科用図書選定にかかる専門調査会調査結果（第1地区）

社 会		日本文教出版
総 評		単元の導入で学習問題をつくり、単元の終末には獲得した知識を生かして学習を振り返るといった構成になっているため、児童主体の問題解決的な学習を展開しやすくなっている。また、資料も読み取りやすい工夫がされているため、読み取った情報を基に対話的な学びも展開されやすい。しかしながら、学習問題をつくる流れに難しさを感じる面もある。また、各小単元の終末段階にあたる箇所、「ふりかえり」の場面が少ない為、学びが深まりにくい。
特に優れている点	1 大阪府教育振興基本計画等との関連	○ 「学びを生かそう」の部分には、多面的・多角的な見方ができるような資料が掲載されており、学びが深くなるようになっている。③
	2 内容の取扱い	○ 学習問題と学習計画が併記されている上、まとめ方にも記載があり、子どもたちが主体的に問題解決型の学習を進めることができるようになっている。⑥ ○ まとめ部分では、単元の学習の振り返りを大切にしている、学習したことを基にどのように社会と関わっていくのかを考えることができるようになっている。③
	3 外的要素	○ デジタルで見ることができる資料が多く、活用しやすいように工夫されている。③ ○ 子どもにとって、色づかいや写真の配置がシンプルで分かりやすい。③
	4 構成・配列	○ 3年生の教科書では、算数の学習内容との関連を踏まえて、棒グラフは○を使ったグラフにしており、読み取りやすいように配慮されている。①
	5 資料・その他	○ 昔と今の様子が分かる写真などが1ページずつに大きく配置され、読み取りやすく、また比較しやすいように工夫されている。③
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪府教育振興基本計画等との関連	○ 学習問題をつくるまでの流れが、指導者にとってやや扱いづらいと感じる。③
	2 内容の取扱い	○ 学習問題の大半は「どのような」「どのように」という言葉で構成されている。単元によっては、理解しにくい問題となる。⑥
	3 外的要素	○ 5・6年生の教科書がやや分厚く、上下巻に分かれている方が扱いやすい。①
	4 構成・配列	○ 資質・能力を教科横断的な視点で育成することが求められているが、横断的な視点を考慮した箇所がない。②
	5 資料・その他	○ 6年生の年表の内容が少なく、やや物足りなさを感じる。①